

今月のおすすめ

- ・アメリカ世の沖縄
- ・日本の天井
- ・おとうさんの絵
- ・お父さんのための子育ての教科書



ご利用案内

- ☆県内在住で小学生以上の方は利用者カードを作ることができます。
- ☆1人 10冊 2週間
- ☆開室時間 火～土 午前9時～午後8時、日 午前9時～午後5時
- ☆お休み 毎週月曜日、毎月第1水曜日、年末年始(12/29～1/3) **特別整理期間(2/1～2/14)**
- ☆返却ブックポスト利用時間(ていりる1Fロビー内) 月～土 午前9時～午後9時 日～午後5時

※ブックポストは、祝日の月曜日と年末年始はご利用出来ません。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

父の日の由来



アメリカのソラノ・ドットという女性が「母の日」があるなら、父の日もあるべきだと唱えて普及活動を行い、父親に敬意を表すために教会に赴き、牧師に頼んで6月の第3日曜日に礼拝したことがきっかけで「父の日」ができました。

母の日がカーネーションなのに対し、父の日はバラなのだそう。1年に1回のイベントなので、普段照れくさくて言えないことや感謝の気持ちを伝えてみてはどうでしょうか。

オススメの本 おとうさんがおとうさんになった日 長野 ヒデ子/ えほんコーナー/Eナ

慰霊の日

沖縄戦等の戦没者を追悼する日

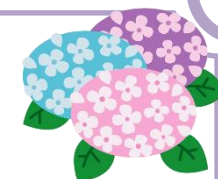


沖縄戦では住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が亡くなり、沖縄県は旧日本軍の組織的な戦闘が終わったとされる6月23日を「慰霊の日」としています。

本土復帰まで、6月23日の慰霊の日は沖縄戦の悲惨な体験を語り継ぐ、重要な日として定着していましたが、本土復帰後は日本の法律が適用となり、休日としての法的根拠を失いましたが、1991年に沖縄県の条例で休日と定め、6月23日の慰霊の日は沖縄県の公休日として復活しました。

オススメの本 オキナワを平和学する！ 石原 昌家 他/ K 319.8 /オ

ていりる (男女共同参画センター) 図書情報室だより 6月号



発行：沖縄県男女共同参画センター ていりる 図書情報室

発行日：2022年6月1日 / No.37

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 - 2F

TEL 098-868-4077 Fax 098-866-9088

ていりるHP <http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>



図書情報室が棲家のマスコットキャラクター「ていりるちゃん」

- ・6月の新刊情報
- ・今月の特集コーナー
- ・今月のオススメ本
- ・今月の国際デー

6月の年中行事・月間・週間・各種記念日

国際親の日(6月1日) 侵略による罪のない幼児犠牲者の国際デー(6月4日) 世界環境デー(6月5日) 世界海洋デー(6月8日) 時の記念日(6月10日) 児童労働に反対する世界デー(6月12日) 世界献血デー(6月14日) 世界高齢者虐待啓発デー(6月15日) 父の日(6月19日) 紛争下の性的暴力根絶のための国際デー(6月19日) 男女共同参画週間(6月23～29日) 慰霊の日(6月23日) 国際薬物乱用・不法取引防止デー(6月26日)

誕生石：真珠 ムーンストーン 誕生花：アジサイ ユリ つゆ草

「あなたらしい」ってなんだろう？

男女共同参画週間 特集

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会です。

(男女共同参画社会基本法第2条)

簡単にいうと、私たち一人一人が平等に扱われるべきだ、という考えです。女だから～男だから～と性別で行動や思想などが制限されないようにしていく社会にはどうしたらいいのか？男女格差ってどういう事？などなど、分かりやすい本を集めてみました。当室入り口に特設コーナーを設けておりますので、この機会にぜひ、お手に取って読んでみてください。

2021年3月に発表された「ジェンダー・ギャップ指数2021」によると、日本は120位。前回と比べて、スコア、順位ともに、ほぼ横ばいとなっており、G7では最下位でした。ちなみに、政治学者の三浦まりさんと上智大法学部教授監修の「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」では、沖縄は女性社長の数が多く、賃金格差が小さいため、経済分野で1位となっていました。その他の都道府県のランキングも掲載されているので、「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」で検索してみてください。

これらの指数をきっかけに、ひとりひとりが社会的役割の偏見を取り払い、誰もが生きやすい社会に変わるといいですね。